

お客様へ

お知らせ



お客様が **故障かな?** と勘違いしそうな事例をあげています。
よく読んでご使用ください。

事象 1

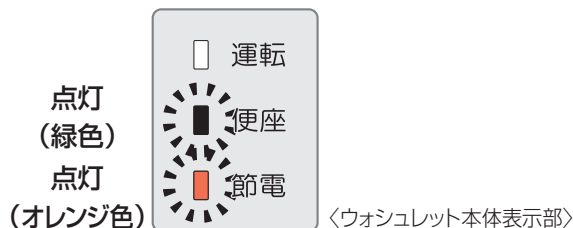
Q1: 便座があたたかくないときがある?



A1: 節電ランプが点灯している場合は節電中です。

節電中でも便座に座ると一時的にあたたかくなります。

便座ヒーターを切って節電している場合は、あたたかくなるまでに約15分かかります。



おすすめの節電!

おまかせ節電のはじめの設定は「入」になっています。

おまかせ節電中

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げ、(約26℃)節電します。

●あまり使用しない時間帯をみつけるまで、約10日かかります。



スーパーおまかせ節電中

おまかせ節電しながらトイレを全く使用しない時間帯には、便座ヒーターを切って節電します。

●使用しない時間帯をみつけるまで、約10日かかります。



タイマー節電中

設定すると、毎日その時間に自動で便座ヒーターを切って節電します。

3・6・9 時間のいずれかの時間を設定できます。

(機種によってはランプの配置が異なります。)

●それぞれの節電は、お好みで「入」「切」の設定ができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※裏面も必ずお読みください。

自動で開く動作は、**焦電センサー（熱の変化で検知するセンサー）**で行っています。
自動で開く動作を説明しますので、よく読んでご使用ください。

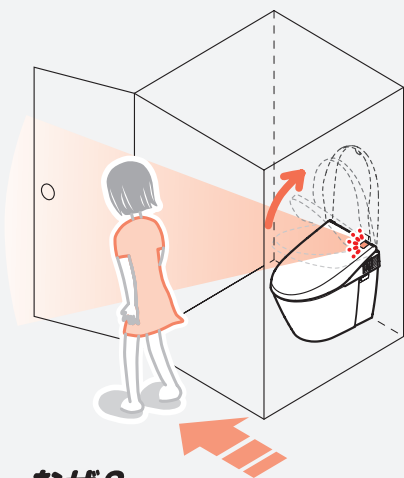
事象2

Q2：便ふたが勝手に開く？



A2：①トイレのドアを開けている場合、ウォシュレットの前を横ざると、便ふたが開くことがあります。

廊下を歩行する場合 (図はネオレストAH)

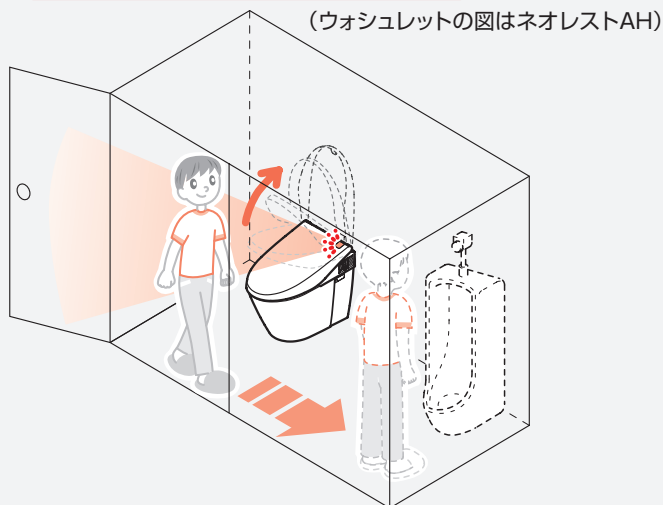


なぜ？

- 焦電センサーは、体温とトイレ室内（トイレのドアや壁）との温度差を検知するセンサーです。検知する範囲が広く、距離を調整することができません。そのため、ウォシュレットの前を横ざると、人を検知して自動で開くことがあります。不都合がある場合には、オート開閉を「切」にしてリモコンのボタンで便ふたを開閉してください。

A2：②小便器と隣り合わせの場合、ウォシュレットの前を横ざると、便ふたが開くことがあります。

小便器等と隣り合わせの場合 (ウォシュレットの図はネオレストAH)



事象3

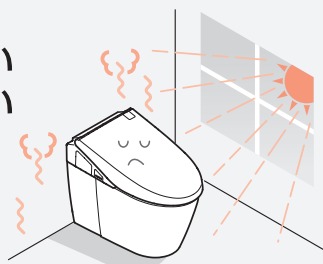
Q3：便ふたの開くタイミングが変わった？

(以前よりタイミングが遅くなった、または早くなった)



A3：夏場などで気温が高い場合は、体温との差が小さく、検知しにくくなります。

(便器に近づかないと便ふたが開かないことがあります。)



なぜ？

- 焦電センサーは、体温とトイレ室内（トイレのドアや壁）との温度差を検知するセンサーです。そのため、夏場などトイレの室温が高い場合、体温とトイレ室内の温度差が小さくなるため、検知しにくくなります。(冬場のほうがより早く検知します。)